

寒さ厳しい季節ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか？コロナウイルスの感染は未だ予断を許さない状況ですので、感染拡大防止のため引き続き、マスクの着用、定期的な換気、密集の回避等を徹底し、十分ご注意ください。



白衣着衣式が開催されました。

臨床実習1（ポリクリ）が始まる医学科4年生（127名）に白衣を贈る白衣着衣式が12月18日（金）に医学部附属病院A棟オーデトリウムにて開催されました。白衣着衣式は、これまで講義と実習で学んできた学生が臨床実習に入る前に行う節目の儀式です。今年はコロナ禍のため、これまでとは異なり、保護者の列席は中止となりました。白衣着衣式では、スチューデントドクターの認定書と山口大学のロゴが入った白衣が渡されました。篠田医学部長、杉野病院長、福本霜仁会会長から、代表の学生に白衣が着せられ、それに合わせて学生全員が白衣に袖を通しました。学生代表が、「医師としての専門性を追求して、医療の発展に貢献し、生涯を人道のために捧げます。」と宣誓し、学生達は、皆、真新しい白衣に身を包み、これから始まる臨床実習に向けて決意を新たにしていました。



第115回 医師国家試験が施行されました。

第115回医師国家試験が、2月6日(土)～2月7日(日)の2日間に渡り、安田女子大学(広島市)にて施行されました。今年はコロナ禍のため、これまでとは異なり、先生方からの激励の言葉や下級生の見送りは中止となりました。密集を避けるため、バス5台に分乗して、本医学部を出発しました。例年行っている医学教育学講座の教員の帯同や国家試験対策委員の学生(3～5年生)の現地入りも中止となりました。コロナ禍で制約が多い中でしたが、無事に全員、受験を終えることができました。6年生の皆さん、国試、お疲れ様でした。皆さんの元に吉報が届くことを祈念しています。



教育改善FD研修会が開催されました。

2月10日(水)に『新時代の大学における授業のあり方について考える～高等学校における学校・授業改善の実際～』というテーマで、本学教育学部の霜川 正幸教授をお迎えして教育改善FD研修会が開催されました。高大接続改革(高校教育、大学入学選抜、大学教育を一繋がりのもので捉え、高大接続教育を進めようとする一体的改革のこと)により、高校教育や高校の授業が大きく変わってきており、入学してくる学生の学びのスタイルやニーズ等を踏まえて、大学の授業も変わっていく必要があるのではないか、授業や科目に応じた「工夫改善」に取り組んでいく必要があるのではないかという問題意識を持つことの必要性が求められています。高校教育、大学教育を通じて「生きる力(豊かな人間性、健康・体力、確かな学力)」を育み、特に「確かな学力」では、社会で自立的に活動していくために必要な力(学力の3要素:知識・技能の確実な修得、思考力・判断力・表現力の育成、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度の育成)をバランスよく育むことが必要とされています。

今回のFDでは、変わりつつある高校教育や高校の授業の実際の様子を県内の高校の事例から多数ご提示して頂きました。高校における学校・授業改善に関して理解が深まり、先生方の今後の授業改善の一助になったのではないのでしょうか。



ご意見・ご要望等につきましては、医学教育センターへ
お願いします。 TEL: 0836-85-3747

E-mail: mec01@yamaguchi-u.ac.jp